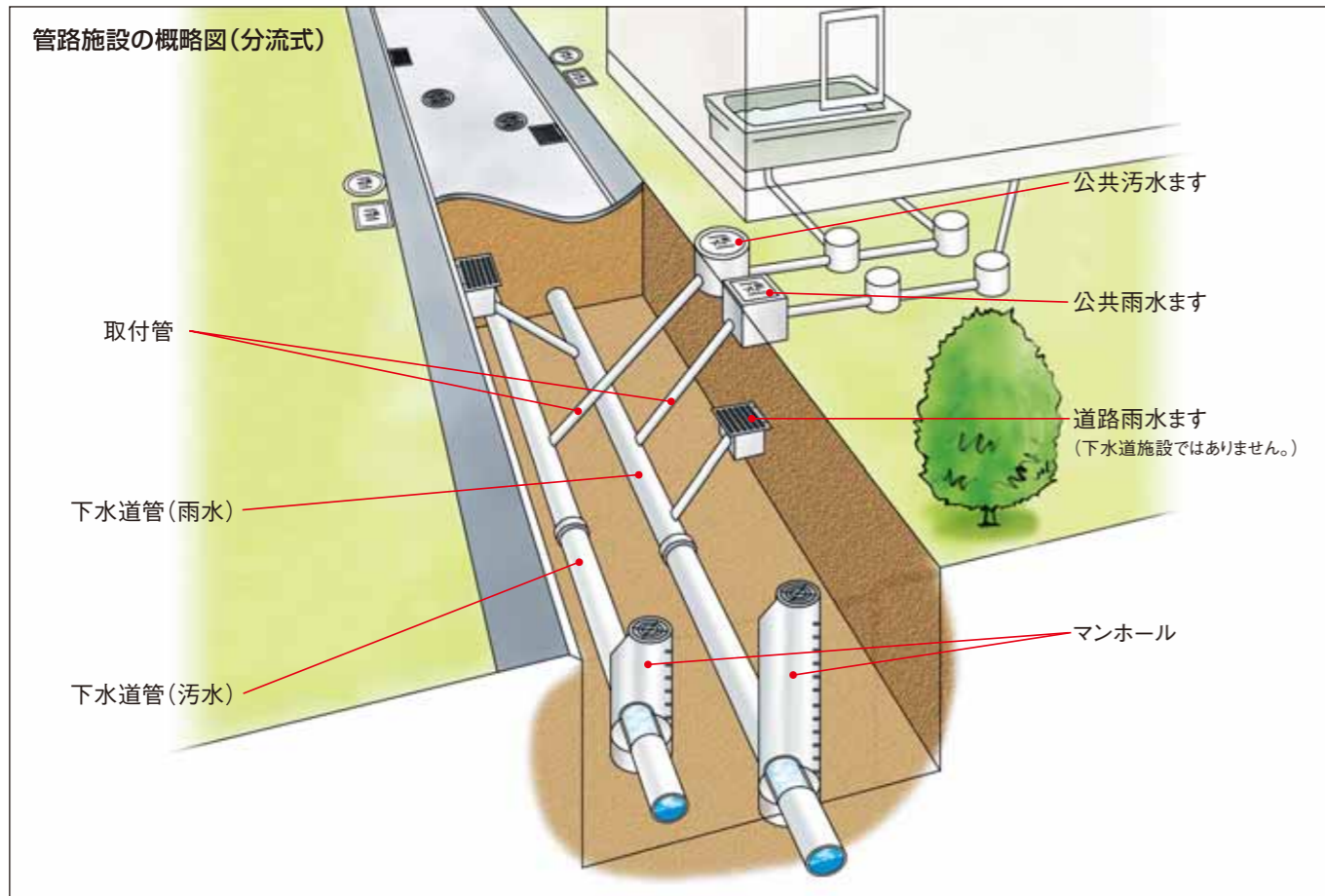


管路施設は、下水を収集し、ポンプ場や水再生プラザ、放流先まで流下させるもので、下水道管、マンホール、公共ます、取付管、雨水吐室、吐口などにより構成されています。

下水道管は、一部の地域を除いて、管のこう配により自然流下方式で下水を流下させています。



公共ます・取付管

公共ますは、家庭や工場等から排出される下水を集水するものであり、家庭や工場等の排水設備と公共下水道の接点となる施設です。

公共ますは、原則として宅地内に設置され、分流式区域の場合は、公共汚水ますと公共雨水ますが別々に設置されます。

取付管は、公共ますに集水された下水を下水道管内に円滑に流下させるための管です。

下水道管

下水道管は、下水を収集し水再生プラザなどへ運搬するために、原則として道路の下にこう配をつけて布設されています。

下水道管には、合流式下水道管、分流式汚水管、分流式雨水管、雨水拡充管など、管路網系統別にいくつかの種別に分類されます。

マンホール

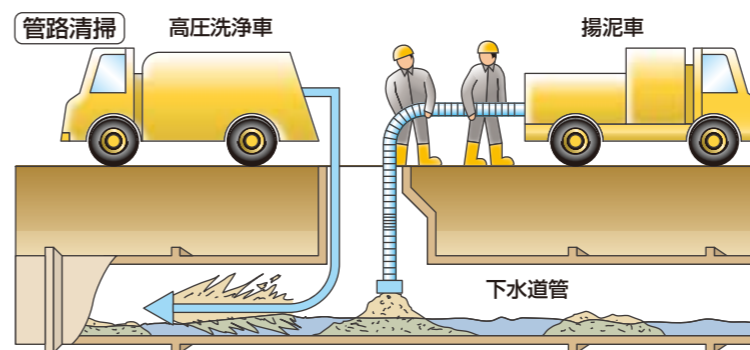
マンホールは、管内調査や修繕のときに、人が中に入って作業するために必要な管路施設維持管理にかかせない施設です。

マンホールは、下水道管の起点や、方向・こう配・管径等の変化する箇所、段差の生じる箇所、下水道管の集まる箇所などに設置されています。



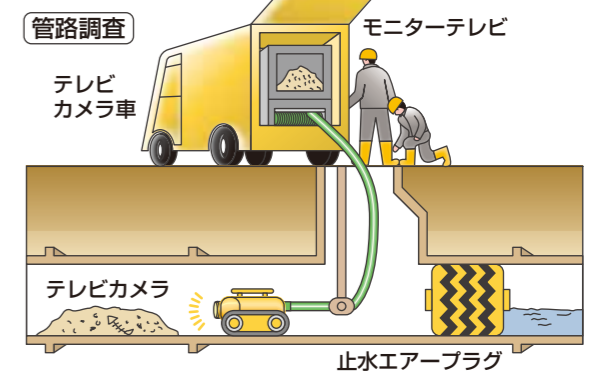
管内清掃作業の様子

管路施設の点検・調査、清掃、修繕



一日も休むことができない下水道の機能を維持するために、下水道管やマンホールなどを、計画的に点検・調査し、施設の状態を適切に把握しています。

また、機能を維持し延命化を図るために、沈殿物の清掃、破損箇所の修繕を行っています。



カメラ調査による異常箇所の画像



マンホール修繕工事の様子



管路施設の情報管理

管路施設に係る埋設情報や管路調査情報等は、下水道台帳管理システムにより管理しており、管路施設の維持管理業務に活用しています。このシステムにある埋設情報は、下水道河川局庁舎1階の閲覧室に設置されているパソコンや札幌市のホームページで公開しており、市民の方等がいつでも簡単に閲覧することができます。



下水道河川局庁舎1階閲覧室



ホームページの閲覧サービス

ホームページ https://www.sonicweb-asp.jp/sapporo_gesui/
又は、「札幌市下水道台帳」で検索して下さい。